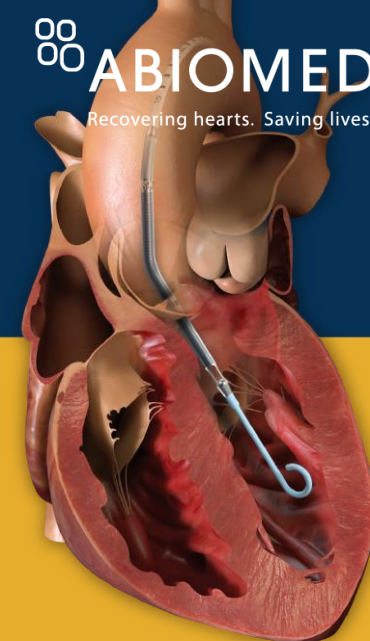


Interventional Heart Failure Therapy Case Club



販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル
医療機器承認番号: 22800BZ100032000

Director



絹川 弘一郎 先生
富山大学



上妻 謙 先生
帝京大学



佐藤 直樹 先生
かわぐち心臓呼吸器病院

日時

2021年2月3日(水)
18:00 - 19:15

会場

Zoom ウェビナー (事前登録制)

※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです
右のQRコードをクリックもしくは携帯カメラでスキャンして頂き
事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにて
ご連絡いたします



Moderator



朔 啓太 先生
国立循環器病研究センター研究所



中田 淳 先生
日本医科大学

Case 1

絹川 弘一郎 先生
富山大学

Case 2

中田 淳 先生
日本医科大学

※ 本ウェビナーに関するお問い合わせ

日本アビオメッド株式会社 マーケティング部
japan_marketing@abiomed.com

Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impella は、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に2,000例を超える国内症例経験が蓄積されています。Impella は救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します^{1,2}。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療とImpella ははじめとした最新デバイスを組み合わせる Interventional Heart Failure (IHF) Therapy は患者の予後改善とQOL向上に必要不可欠と考えられます。Impella を含む IHF Therapy の達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャーインターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません^{3,4}。本ウェビナー (定期開催予定) では、各専門領域のエキスパートをお迎えして IHF Therapy の実践例をディスカッションすることで、Heart Recovery に取り組まれている医療従事者の皆様にとってよりよいIHF Therapy 提供の一助になればと考えております。